

達成度：H28.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

こども課の目標（平成28年度）自己評価書

こども課長 七タ タ美子

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 円滑な教育委員会議の運営（庶務班）</p> <p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成26年法律第76号）の施行に伴い、新体制の酒々井町教育委員会会議が円滑に運営できるように努めます。</p>	4	<p>新たな教育委員会体制のもと、円滑な教育委員会会議を実施したほか、町長と教育委員会による総合教育会議を開催しました。また、研修会への参加や小中学校で授業参観を行うなど、会議活動にとどまらず、町内外で委員活動を行いました。</p>
<p>2 学校施設設備の整備（庶務班）</p> <p>学校の教育用機器の更新及び老朽化による施設の整備や修繕が必要なことから、順次、整備や修繕を行い良好な教育環境の提供に努めます。</p>	4	<p>小・中学校において必要に応じ床改修を行ったほか、酒々井小学校南棟トイレ洋式化工事などを実施するとともに、各種の施設修繕を行いました。また、児童・生徒用の机や椅子などの備品の購入を行いました。</p>
<p>3 利用者支援事業の実施（子育て支援班）</p> <p>新規事業として、子ども・子育て支援新制度に基づき、保育や教育など、様々な情報を収集し、保護者の目線による相談支援を実施します。活動拠点はあいあいルームに置き、各種機関と連携しながら連絡調整を行います。</p>	4	<p>保育士資格を有する担当者をあいあいルームに配置し、保育や教育に関する情報収集を行うとともに、保護者の目線で相談に対応し、必要に応じて専門機関などの紹介及び連絡調整を行いました。</p>
<p>4 ファミリー・サポート・センターの開設（子育て支援班）</p> <p>新規事業として子ども・子育て支援新制度に基づき、実施します。育児の手伝いの依頼者と提供者の会員組織による相互援助活動が円滑に行えるよう取り組みます。</p>	3	<p>こども課内に「しすいまちファミリー・サポート・センター」を設置し、利用会員（依頼者）と協力会員（提供者）及び両方会員を募集しましたが、協力会員への登録が少なく、実際の相互援助活動が行えませんでした。</p>

<p>5 一時保育や園庭開放、子育て相談の実施（保育園） 保護者の就労形態の多様化及び緊急時の保育需要に対応するため、一時保育の利用を継続して行います。 また、年間計画に基づく園庭開放や子育て相談も継続して行います。</p> <p>チャレンジ目標</p> <p>1 酒々井中学校グラウンド整備事業の推進（庶務班） 酒々井中学校は、グラウンドが狭く野球部、サッカー部の練習が交錯しているほか、部員数の多いテニスコートも不足していることから、平成26年度に作成したグラウンド整備図面を基に、具体的な整備を進めます。</p> <p>2 子育て支援施設整備（子育て支援班） 子育て支援の充実のため、岩橋保育園に隣接した場所へ子育て支援施設を設置できるよう、取り組んでいきます。 計画 平成27年度 用地購入、平成28年度 施設設計、平成29年度 建築工事</p> <p>3 放課後児童クラブ（子育て支援班） 酒々井小学校及び大室台小学校放課後児童クラブ運営委員会の組織を見直し、中長期的に安定した学童クラブ運営が可能となるように運営形態の転換等を協議、検討していきます。</p>	<p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p>	<p>一時保育を実施し、町立保育園合計で、のべ619人のお子さんをお預かりしました。 園庭開放は、広報などで周知して実施し、子育て相談にも対応しました。</p> <p>地権者の協力を得て、グラウンド整備に必要な土地の一部を購入しました。また、グラウンド整備に係る土地の測量を行いました。</p> <p>施設の設計を実施しました。</p> <p>近隣市町村の放課後児童クラブの運営状況を調査し、今後の運営のあり方と委託について検討を行いました。 その結果、いくつかの運営形態がありましたが、小学校の余裕教室を利用していることと児童の健全育成を目的とした事業であることから、営利を優先することなく、子どもたちが安心して過ごせる、安定した学童クラブの運営が可能と見込まれる法人への委託の方向を目指しました。</p>
--	--	--